

## 輸入バナナは止めませんか？



村井俊治

バナナは最近ダイエットに良いと宣伝され、食べる人が増えています。バナナは繊維質、フラクトオリゴ糖、マグネシウムを含み、便秘、糖尿病、大腸ガン、脳梗塞、高血圧、動脈硬化、心筋梗塞などに効くといわれ人気があります。子供も大好きです。離乳食にバナナを赤ちゃんに上げる人もいます。しかし、バナナを食べる前に待ってください。

私はタイに別宅があり、庭にバナナの木を沢山持っています。別宅を訪問すると庭師が庭のバナナを沢山用意してくれます。皮は黄色です。勿論無農薬バナナです。実に美味しいです。少しネトリがあります。最初は少し酸味がありますが、2,3日すると皮が黒くなり始め、中は甘みが増します。さらに1,2日すると中は少し崩れ始め、甘みはさらに増しますが、痛んでいるので食べごろは過ぎてしまいます。ということは、バナナはせいぜい5日間しか持ちません。食べる時にむいた皮は直ぐに黒い皮に変色します。

ところで日本で売っている輸入バナナは美しい黄色をしており、全く痛んでいません。1週間近く持ちます。この黄色は、自然の黄色でなく、緑の若いバナナをエチレンガスで薫陶して黄色に化学変色させたものです。バナナは生育中および輸送中に虫がつかないように大量の農薬や防腐剤をかけます。ほとんどはフィリピン産ですが、現地人は輸出用のバナナは決して食べないといわれます。それほど農薬漬けです。シマミミズを飼っていると書きましたが、シマミミズは果物の皮が大好きです。輸入バナナの皮をシマミミズに上げたら全滅したと報告されています。いかに毒性が強いかわかります。

中身が大丈夫なら良いではないかと反論する方もいるでしょう。日本の保健衛生関連法からすれば、中身は保証されていると思います。でも皮は保証されていません。中身を食べる時には手で皮をむきます。毒性の強い皮で覆われた食品を食べる勇気がある方を止めることはしません。しかし、健康な体で長生きをしたいと願っているお年寄りや、将来を期待される子供や赤ちゃんには勧めたくありません。

昔は台湾バナナを輸入していました。「バナナの叩き売り」がありました。昔は農薬を使わないバナナを輸入していましたから、すぐにバナナは傷みました。そこで商品価値があるうちに、バナナを叩き売ったのです。いまは、一見いつまでも新鮮に見えるバナナになりました。毒性のある化けの皮を被っているのです。もし、腹一杯バナナを食べたければ、熱帯の国を訪ねてください。1本3円ぐらいで無農薬バナナを買えます。皆さん、輸入バナナは止めませんか？

